

たるさぽ通信



第23号 令和7年3月3日
発行：小樽市福祉総合相談室
「たるさぽ」

皆さんこんにちは。小樽市福祉総合相談室「たるさぽ」です！（以下「たるさぽ」と省略）
私たち「たるさぽ」は、H27年4月1日に小樽市が開設した「仕事」や「生活」などで悩んでいる方の相談支援機関です。専門の相談員がお話を伺い、問題解決のためにサポートします。相談は無料です。

ご相談専用フォーム・メールアドレスを開設いたしました

ご相談専用フォーム <https://logoform.jp/f/r3jLA>

【ご相談フォーム】

ご相談専用アドレス taru-sapo@city.otaru.lg.jp



この度たるさぽでは、皆さんからのご相談をより受けやすくするため、ご相談専用フォーム・メールアドレスを開設いたしました。電話や来所することに抵抗がある場合や、メールでの相談を希望される場合など、色々な事情があると思いますので、ぜひご活用ください。土日祝を除いては、なるべく早い返答を心がけております。作成して間もないですが、既に多くのメール相談をいただいております。



出張相談会開催のお知らせ

たるさぽでは、今年も出張相談会を開催しております。「市役所には行きにくい」「市役所に行くほどではないけれど、気になることがある」といった場合など、お気軽にお立ち寄りください。お仕事や生活、ご家族についてのお困りごと等、共に考えたいと思います。



【開催日時】

毎月最終火曜日 10～14時

※当日祝日の場合は前週火曜日

【開催場所】

ウイングベイ小樽五番街1階

済生会ビレッジ

銭函「おさんぽカフェ」訪問

天狗のミシャ(作:小倉隆司)

小樽の認知症カフェの一つ、「おさんぽカフェ（銭函1丁目32-5）」を訪問いたしました。当店ではスタッフさんが有償ボランティアさんということで、ボランティアに興味を持つ相談者様と共に伺いました。店長である菅原管理者は気さくで話しやすく、とても居心地の良いお店でした。介護のプロに介護相談ができることはもちろん、刺繍や将棋など、趣味仲間の集まりの場所として活用されていたり、広いカウンター席でゆったりコーヒーを飲めたりと、人数・年齢問わず、思い思いに楽しめる素敵なお店でした。皆さんもぜひ、足を運んでみてください。



営業は月～土曜、11時～16時



ホットサンドセットいただきました



談笑中のご常連さんとスタッフさん

ひきこもり相談を受けて

～たるさぼとの出会いをきっかけに、Mさんが踏み出した一歩～

長期にわたり就職から遠ざかり、買物に行く以外は家にいることがほとんどであった M さん（50 歳、男性）の、現在の活動についてご紹介させていただきます。

きっかけは 2023 年 7 月、お母さんからのご相談でした。ご相談内容は「息子を社会に出してあげたい。家族以外の人と関わる機会を持たせてあげたい。」というもの。すぐに M さんに会うことはできそうになかったため、まずはご家族に対してたるさぼの支援内容をご説明し、状況をお聞かせいただきました。

3 か月程ご家族とお話をさせていただいた後、11 月に初めて自宅訪問をさせていただきました。しかし M さんに会うことはできず、12 月に 2 度目の訪問をいたしました。その日も会うことはできませんでした。

直接会うことは難しいのかなとも悩みましたが、年が明けた 2024 年 1 月、3 度目の訪問の際、M さんが 2 階の自室からリビングに降りて来てくれ、初めて会うことができました。その日は会話することはできませんでしたが、軽く会釈をしてくれました。お姉さんはこの光景を見て涙を流しておられましたが、早い段階で M さんに会うことができたのは、お姉さんをはじめ、ご家族のご協力があったからだと思っています。

そして 2024 年 2 月、お姉さんと共にたるさぼの「就労準備支援事業」に体験参加したことをきっかけに、M さんとたるさぼとの直接的な関わりがスタートしました。

そこからは毎週欠かさずレクリエーションに通い、徐々に周囲との交流にも慣れていき、就労意欲も湧いたようで、8 月には求人票を見て興味を持った企業へ見学に行きました。（企業への連絡と同行は、たるさぼが行っております。）とても緊張されたようですが、大きな一歩となったように思います。

その後も複数社、企業見学を行い、11 月にはついに面接に挑戦されました。結果は惜しくも不採用でしたが、大きな二歩目でした。

M さんの目標である就労に向けて、引き続き、たるさぼも共に就職活動を続けていきたいと思っています。

就労準備支援事業レクリエーションの様子



いなきたの体育館でバドミントン。



済生会で「ポッチャ」体験。



クリスマスラッピングに挑戦。



たるさぼ就労準備支援事業

毎週木曜日の 10 時から、主に生涯学習プラザ「レピオ」を利用して様々なレクリエーションを行っています。「就労準備」とはいっても、プログラムの内容は就職に特化したものではなく、楽しんで交流することを第一目標としております。自宅以外の「居場所」としての側面も持ち合わせておりますので、お気軽にご相談・ご参加下さい。

最後に、M さんとの関りにおいて感じたことは、出会いから就職活動に踏み出すまでの流れがとてもスムーズであったということでした。これは、M さんの中には就労への希望と心構えが既にあって、しかしそれに向けた第一歩を踏み出す「きっかけ」を掴めずにいたということなのかもしれません。

「きっかけ」を掴むことで大きく踏み出せる人はいると思います。決して就労がすべてではなく、目標が就労である必要はありません。それぞれに、何かに向かって踏み出してみたい一歩があるとすれば、微力ながら、たるさぼがその「きっかけ」になればうれしく思います。

極東高分子株式会社に就職して

～多くの不安を抱えて挑戦した7年ぶりの就労～

たるさぼの就労支援を経て、極東高分子株式会社に就職したSさん（28歳、男性）の、就職へ至る経緯とご本人の頑張りについて紹介させていただきます。

短期大学卒業後、資格を活かして就職したSさんは、2つの職場でいじめに遭ってしまい、それぞれ半年で退社して以降、仕事への恐怖と人間不信から5年間、仕事から離れて実家暮らしをしておりました。

前の職場では、急かされたり、メモを取ることを禁止されたり、些細なことで叱責されたりしたようですが、メモを取ってじっくり仕事を覚えたかったSさんは、自分は仕事に向かないのだと、深く落ち込んでしまいました。

しかし「メモを取ってじっくり仕事を覚えたい」という人材を求める企業は多いはず。まずはたるさぼの就労準備支援事業に参加いただき、就職について共に考えていくことといたしました。

就労準備支援事業の中で見えてきたSさんの性格は、とても真面目で思いやりがあること、一方で自己評価が低く、とにかく仕事への恐怖（過去のトラウマ）が強いというものでした。それ故に、何社企業見学をしてみても、どうしても応募に踏み切れず、悩む時期が続きました。

しかし1年が経過し、銭函の極東高分子株式会社にて、採用ご担当者様から事業説明を受け、工場見学をさせていただき、その際の丁寧なご対応と事業への興味から、応募してみたいという気持ちが芽生えました。そこから一か月、毎日深く悩んだ末、面接に挑戦する決意をされました。

そして、たるさぼでの面接練習を繰り返してから面接に挑み、見事採用されました。真面目な人柄を評価いただいたようです。勤務時間の相談にも乗っていただき、まずは「半日」からスタートさせていただきました。

そこからは、順調に仕事を覚えて勤務時間が「1日」に伸びたものの、それが体の負担につながって休みがちになり、「自分は役に立たないから」と退職を申し出たこともありましたが、たるさぼが間に入ってもう一度「半日勤務」に戻していただき、1年が経過した現在も、元気に勤務されています。Sさんは体調を崩して会社に迷惑をかけないように、禁酒をして規則正しい生活を心がけているとのこと。

ちなみにSさんが退職を申し出た際、なぜ会社が「役に立たない自分」を止めてくれたのか理解ができなかったとのこと。しかし採用ご担当者様に聞くと、「彼はとても頑張ってくれている」という評価です。仕事においては「自己評価」だけではなく「他者評価」を受け入れてみることも大切なのかもしれません。

最後に、この度の極東高分子株式会社様のご理解は多大なものでした。ブランクへの配慮、勤務時間の調整、突発的な欠勤・休暇への対応等、大変柔軟に受け入れていただきました。この理解ある環境があるからこそ、Sさんもそれに応えようと頑張れるのかもしれません。引き続き、よろしくお願いいたします。



フィルムの梱包を担当。このフィルムが、私たちがお店で目にする商品パッケージになっていくようです。



極東高分子株式会社

小樽市銭函2丁目56番1号
梱包資材の製造販売事業

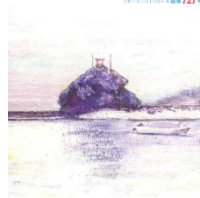
小倉隆司さん作品続々…



前号で紹介させていただきました小倉隆司さんですが、その後も素敵なイラストを次々に制作されています。たるさぼとの関わりをきっかけとして生まれた「天狗のミシャ」というキャラクター。小樽をモチーフに考えられたこのキャラクターが、最近色々な人の目にとまり、躍動しています。

「月間おたる（新年号）」では、ミシャに関する自筆のエッセイとイラストが掲載されました。また、共育舎発行の冊子「よりみち+」では、自筆の小説とカラーイラストが掲載されました。どちらもとても素敵な作品です。皆さんもぜひ、読んでみて下さい。

月刊おたる 新年号



月刊おたる 新年号



よりみち+ (No139)

企業訪問をさせていただきました。

株式会社 DAZZLING PLUS（小樽市錦町 8-6 丸上ハヤシヤビル 2 階）

就労支援 A 型事業所「DAZZLING PLUS」を見学させていただきました。2023 年設立の新しい事業所です。当日は山本主任代理にご対応いただきました。大変ご丁寧にご説明をしていただき、ありがとうございました。

お仕事内容は、データ入力や営業用リスト作成など、パソコン作業がメインのようです。大きな窓のある清潔な職場で、リラックスして過ごせる環境作りにも配慮されているようでした。人気があるようで、すでに多くの利用者様が通われているとのこと。たるさぽでも、福祉就労を検討されるご相談者様で興味を持たれる方は多いです。引き続き、ご相談させてください。

入口には、小樽のアーティスト saru1 氏が手掛けた素敵なイラストが描かれていました。⇒



社会福祉法人 小樽高島福祉会 ワークセンター・やまびこ（小樽市手宮 1 丁目 5 番 26 号）

小樽高島福祉会「ワークセンター・やまびこ」と「Workshop・さくら」を見学させていただきました。就労継続支援 B 型事業所である「ワークセンター・やまびこ」で、約 40 名の利用者様が 1 日 60 種類の菓子パンや災害用備蓄パンを製造され、「Workshop・さくら」で、その菓子パンやソフトクリーム、コーヒー等を販売されておりました。施設と工場は清潔な環境で、利用者様はとても真剣にお仕事に取り組まれておりました。お店は私たちが見学させていただいている際にも次々とお客様が来店され、賑わっておりました。寺谷施設次長、長時間にわたるご対応ありがとうございました。皆さんもぜひお店に足を運んでみてください。



ワークセンター・やまびこ



工場を見学させていただきました



Workshop・さくら



総菜パン・菓子パン販売

第一ゴム株式会社（小樽市奥沢 3 丁目 29 番 32 号）

ゴム長靴製造の老舗、第一ゴム株式会社を見学させていただきました。当日は久保田顧問に工場や製品のご説明をいただきました。求める人材は、「（特別なコミュニケーションスキルがなくても）挨拶ができる人」「まじめに働いてくれる人」とのこと。ブランクや障害など、一人一人の背景・特性にも配慮していただけるようです。過去にもたるさぽ相談者様が就職しています。久保田顧問には、今回も親身になってお話を聞いていただきました。いつもありがとうございます。



久保田顧問にご対応いただきました。

小樽市福祉総合相談室「たるさぽ」

小樽市花園 2 丁目 12 番 1 号 小樽市役所本館 1 階

電話: 0134-33-1124 / 0134-33-1128

FAX: 0134-33-1128

ご相談メール: tarusapo@city.otaru.lg.jp

開所時間: 平日 9:00~17:00 (土日祝・年末年始除く)

【ご相談フォーム】



小樽市 HP



アメブロ



Facebook

